

公益社団法人日本新体操連盟
平成 26 年度第 3 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 26 年度第 3 回理事会
2. 日時： 平成 27 年 3 月 5 日（木）18 時 30 分～19 時 50 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館 202 号室」
4. 構成員現在数： 15 名
5. 出席役員： 福本 隆（副会長） 関田史保子（常務理事） 渡辺 守成（常務理事）
秋山エリカ（理事） 池田真喜子（理事） 岡 久留実（理事）
崇島 慎一（理事） 谷口 裕代（理事） 橋本 千波（理事）
山崎 浩子（理事）
以上 10 名
6. 欠席役員： 二木 英徳（会長） 朝倉 正昭（副会長） 石崎 朔子（副会長）
上村 郁代（理事） 谷原 誠（理事） 田中 元（監事）
以上 6 名
7. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 27 年度事業計画、予算、役員について
（定款第 4・35 条、第 4・5 章関連事項）
第 2 号議案 その他
8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

（公社）日本新体操連盟・定款第 30 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳が急用のため欠席となり、代わりに福本隆副会長がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を池田真喜子理事と崇島慎一理事にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 31 条の定めにより、理事会出席者数が 10 名であることが池田真喜子理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、池田理事が進行を務めるよう依頼した。

(5) 議決事項

第 1 号議案 平成 27 年度事業計画、予算、役員について（定款第 4・35 条、第 4・5 章関連事項）
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 第 17 回チャイルド選手権

事業計画の説明の前に、2 月に行われた「第 17 回チャイルド選手権」において、得点集計システムの不具合があり、大会運営に支障をきたした事。今後の改善点の説明報告がされた。

- ① システムのバッグアップ体制の整備
- ② 申告書提出確認方法の変更
- ③ 実施ジャッジペーパーの書式変更
- ④ 決勝進出者の確認方法の変更
- ⑤ 表彰時間の短縮

（質疑・意見）

山崎理事より、競技会として、決勝進出を望まない参加者がいる事に違和感を感じる。大会の意義、開催方法等見直す時期が来たのではないかと意見があった。

谷口理事より、指導現場では 4 種目教える時間がない現状があることが報告された。
今後大会をどうしていくのか検討していくこととなった。

2. 平成 27 年度事業計画について

平成 27 年度の事業として、ほぼ例年と同じ内容を計画している。

3. 第 24 回全日本新体操クラブ選手権について

期日は 8 月 21 日から 23 日東京体育館で開催する。

種目が、年間種目ローテーションに合わせて

2 部 フープ、ボール、クラブ

1 部シニア フープ、ボール、クラブ、リボン

1 部ジュニア ロープ、フープ、ボール、クラブとなった。

また、全大会共通で音楽素材について注意喚起を行う。大会にお持ちいただく CD などが傷が多く、本番中に止まるトラブルが多いことが原因である。

4. 第 15 回全日本新体操クラブ団体選手権について

期日は 9 月 26 日から 27 日東京体育館で開催する。

種目は、ローテーションに従い、

シニア クラブ 6 & フープ 2

ジュニア ボール 5 となった。

(質疑・意見)

渡辺常務理事、山崎理事より、日本体操協会主催「全日本ジュニア選手権」への出場権が得られたことが報告された。それに従い、ジュニアの部上位 3 チームが出場権を獲得する。年齢基準に達していないチームが上位に入った場合、そのチームは出場権を得られず、出場権獲得チームが 3 チーム未満になる事がある事が確認された。

渡辺常務理事より、年齢制限に関しては日本体操協会に下限年齢の引き下げを山崎理事より提案するよう意見があった。

5. イオンカップ 2015 世界新体操クラブ選手権について

期日は 10 月 2 日から 4 日東京体育館で開催する。

前回の理事会で決まった内容で、1 日目に予選をシードチーム、ワイルドカードを除く全チームで行い、2 日目に予選上位 3 チーム、シード 5 チーム、ワイルドカード、個人決勝出場者で決勝前半 2 種目、3 日目に決勝後半 2 種目を行う。

6. 第 16 回日本新体操祭について

期日は 10 月 3 日東京体育館で開催する。

前回理事会で決まった、時間を 1 チームの演技時間を 3 分に記念集合写真撮影を無しとした。

7. 第 18 回全日本新体操チャイルド選手権について

期日は 2 月 26 日から 28 日東京体育館で開催する。

以前第 18 回 19 回大会の採用予定種目を発表しているため、前回理事会で提案があった 5・6 年生の部の種目ローテーション案は 19 回大会以降からにしたい。

また、前回理事会で決まった 5・6 年生の部ルールについて、特別ルールをなくし、FIG ルールで行うこと。3・4 年生の部の演技時間を 1 分だったのを 1 分 15 秒から 1 分 30 秒とすることにしてある。

(質疑・意見)

岡理事より、種目のローテーションは 3・4 年生の部はボールとロープのローテーション、5・6 年生はフープ・クラブ・リボンの 3 種目ローテーションで行いたいと提案があり、採用された。

18 回大会

5・6 年生の部 予選クラブ、決勝リボン

- 3・4年生の部 予選ロープ、決勝ボール
19回大会
- 5・6年生の部 予選フープ、決勝クラブ
3・4年生の部 予選ボール、決勝ロープ
20回大会
- 5・6年生の部 予選リボン、決勝フープ
3・4年生の部 予選ロープ、決勝ボール
21回大会
- 5・6年生の部 予選クラブ、決勝リボン
3・4年生の部 予選ボール、決勝ロープ

谷口理事より、チャイルド選手権に関して改革案が提案された。

- ・大会の意義とルールを伝える場を設けたい。
- ・3・4年生の部では予選に徒手を入れたい。
- ・キッズコンテストの意義を再度検討したい。

渡辺常務理事より、これらの問題は指導者に起因する所も多々としてある。全米選手権では、大会会場でアカデミーが開催されている。それらを参考に指導者の資格認定制度を早急に設けて連盟の意義などを広めていく方向性が良いと意見があった。

以上の意見交換の後、早急に決める事が出来る問題ではないので、27年度で検討していくこととなった。

7. セミナーについて

セミナーについては前回理事会でも出たように、27年度は開催回数を減らし、指導者認定について注力していく予定である。実施するセミナーは例年と同様としてある。

8. 平成27年度予算について

予算は実績に近づける形で作成してある。バジジテストは昨年予算を計上していたが、今年には先に指導者資格認定を進めることとなっているので、バジジテストの分を指導者資格認定に振り分けてある。

事業活動収支が2億9160万6000円 事業費支出が2億7734万6000円 管理費1426万円で事業活動収支差額が0円、予備費100万円を計上し、平成27年収支差額が▲100万円とした。

9. 代議員について

2015年3月末をもって、公益社団法人第1期代議員の任期終了となる。次期代議員として、第1期役員全員が候補者として挙がっている。

10. 役員について

同じく理事・監事の役員も任期終了となる。朝倉理事が体調不良のため、上村理事が定年により、田中監事をご家庭の事情により役員を外れられる。前回の役員推薦会議にて、

外れられる理事以外の現理事及び、新規でテレビ朝日スポーツコメンテーター宮嶋泰子氏、日本新体操連盟職員守永直人が理事候補に。監事には税理士事務所晴海パートナーズ代表の小島浩二郎氏が候補者に推薦された。

(質疑・意見)

説明中に出された意見、報告以外の質疑・意見は無かった。

以上の経緯の後、第1号議案平成27年度事業計画、予算、役員については、団体選手権の全日本ジュニア選手権出場枠、チャイルド選手権種目及び誤字訂正をした後、全会一致で決議した。

第2号議案「その他」について

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 27 年 3 月 5 日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 26 年度第 3 回理事会

議長代理 福 本 隆

議事録署名人 崇 島 慎 一

同 池 田 真喜子